

2021/06

ディスパロン A671-EZ

非水系塗料用増粘・ダレ止め・沈降防止剤

ディスパロン **A671-EZ** は脂肪酸アמידワックスを溶剤中で膨潤したペーストタイプのチクソトロピック剤で、有効成分を 10%にした易分散タイプのため、初期分散性に優れています。溶剤に高引火点のミネラルターペンとベンジルアルコールを用いているのが特長で、幅広い塗料系で使用することができ、耐熱性、経時安定性にも優れています。

■性 状 (納入規格ではありません)

外観	白色～淡黄白色ペースト
主成分	脂肪酸アמידワックス
有効成分	10%
溶剤	ミネラルターペン／ベンジルアルコール
引火点	41.3℃ (セタ密閉式)

■用途及び使用方法

- ・ 合成樹脂塗料系全般に使用できますが、特に長・中油アルキド系、ターペン可溶アクリル系、NAD等の高引火点塗料に最適です。(指定可燃物、可燃性固体類に分類)
- ・ 分散機はディゾルバーが適しており、3本ロールミルやサンドミル等強剪断の加わる分散機では、アמידの構造が破壊され効果が低下することがあります。
- ・ 添加量は、塗料全量に対して 2.0～6.0 重量% (ダレ防止用)、1.0～3.0 重量% (沈降防止用) が標準です。(ただし、お客様の配合条件によっては最適添加量が標準添加量の範囲外となることもあります。実際にお使いになる配合で試験を行った上、最適添加量を決めていただきますようお願いいたします。)
- ・ 分散時にアמיד成分が一旦塗料中に溶解すると、塗料中に析出粒子が発生し、後に沈殿する恐れがあります。それによる粒子発生を防ぐため、分散温度は常温～50℃が標準となります。極性溶剤の多い配合系では、溶解温度が低くなるので、前述標準分散温度の範囲内であっても、分散温度にご注意ください。
- ・ アルキドメラミン樹脂塗料や油変性アルキド樹脂塗料等の焼き付け・強制乾燥塗料で使用了場合、ハジキや上塗り性不良を起こす事がありますので十分な確認試験を行ってください。
- ・ 寒冷期、20℃以下の温度で貯蔵されると製品中の成分が結晶化し未分散粒子が発生することがあります。その際は容器ごと 35～40℃の加温室で 24～48 時間加温してからご使用ください。

この製品の使用に関する当社の情報は信頼し得ると考えられるデータに基づくものですが、内容につきまして確たる保証するものではありません。製品の使用条件については弊社が制御出来ないからです。全ての製品は御需要家各位で適性を試験された上御利用頂くと共に全ての不注意や不適切な取扱いによる損害への補償は致しかねます。尚、安全性や取扱い方法についての詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)を御参照下さい。また本製品の御使用に当たっては御需要家各位で現存する特許に抵触しない事を調査して頂くようお願い致します。

© 2006-2021 All Rights Reserved By Kusumoto Chemicals, Ltd.